

青森県 秋季高校野球

▷最終日

秋季青森県高校野球選手権最終日は24日、弘前市のはるか夢球場で決勝と3位決定戦を実施した。決勝は青森山田が弘前東を3-1で下し、2年連続8度目の優勝。3位決定戦は八学光星が八高専に4-1で勝利し、東北大会出場を決めた。

来春のセンバツにつながる東北大会は10月13~18日に福島県で開催される。青森県からは青森山田、弘前東、光星の3校が出場する。組み合わせ抽選会は10月3日に行われる。

(金濱千優希、向中野一樹)

きのうの結果
▽3位決定戦
八学光星4-1八高専
▽決勝
青森山田3-1弘前東

光星 東北大会切符

八高専 追加点奪えず

3位決定戦

八学光星000040000014
八高専000000000011

▽三塁打 矢野、長南、光
▽二塁打 福山、近藤、光
大久保、森田(専)
【評】光星は1点を追う5回に武岡の内野安打などで

1死満塁とする、矢野が走者一掃の右中間三塁打。長南も左中間三塁打で続き4得点。主戦福山は安定した投球で1失点にとどめ、完投。八高専は三回1死1三塁から田口のスクイズで先制したが、追加点を奪えず粘り強く投げた投手陣を援護できなかった。

5回に連打、勝負決める 光星

ハイライト

も三塁打を放ち、一挙4得点の猛攻撃のミスもあり、中軸の意地を見せた。仲井監督は「特に走塁が調った。それでも東北大会まで、それを」

(金濱千優希)

春のセンバツにつながる東北大会最後の切符は光星が手にした。しかし、試合終了後のナインに笑顔はなかった。「ふがいなかった準決勝の鬱憤を晴らすゲームがしたかった。主戦の福山優希は、実力を出し切れず3位に終わった新チームの輸出に、悔しさをにじませた。

先制点は八高専に奪われた。三回1死一、三塁からスクイズを決められ、「警戒していたが、大事な場面で簡単に投げてしまった」と福山。この日は9奪三振に与四死球1と、主戦らしい安定した投球を見せたが、「気の抜けた球も何回もあった」と反省は尽きなかった。

打線が機能したのは五回。内野安打を本と四球で1死満塁とし、3番矢野虎が走者一掃の適時三塁打。フライを狙った中で、いい場所に落ちた「矢野」。続く長南佳洋



【八学光星―八高専】5回光星1死満塁、矢野虎が逆転となる右中間三塁打を放ち、3-1と逆転はるか夢

【八学光星】	打点	安打	得点	失点	失球
山田	4	0	0	0	0
近藤	0	0	0	0	0
福山	0	0	0	0	0
森田	0	0	0	0	0
大久保	0	0	0	0	0
矢野	1	1	1	0	0
長南	2	1	2	0	0
田口	0	0	0	0	0
仲井	0	0	0	0	0
合計	7	1	3	1	1

【八高専】	打点	安打	得点	失点	失球
山田	0	0	0	0	0
近藤	0	0	0	0	0
福山	0	0	0	0	0
森田	0	0	0	0	0
大久保	0	0	0	0	0
矢野	0	0	0	0	0
長南	0	0	0	0	0
田口	0	0	0	0	0
仲井	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0